

みよし協働のまちづくり

あけましておめでとうございます。

市民と行政が協働して、暮らしが充実するまちづくりを

目指していきます。今年もよろしくお願ひします。

昨年、秋以降行った市民に関わる活動をお知らせします。

報告

「共感を生む活動発信」

令和元年9月26日(木) 13:30~15:30

市民活動サポートセンター・多目的室2 参加 25人(11団体)

講師 // NPO法人「みち」 鈴木 悠太 さん

当日の内容

- ： 鈴木さんの講演 「みちの活動概要の紹介」
- ： 団体の共感を生む活動発信を整理してみる



▲ 障がい者福祉施設「畦道(あぜみち)」の運営。
 …中山間地域の資源を活かして働く練習をする施設。

◎ NPO法人「みち」は豊田市の足助地区で統合失調症などの精神障がいがある方の就労支援や地域交流を当事者の方と一緒に活動してみえる団体です。

「精神障がいという言葉になじみのない人も多くなかなか理解されないことありますが、地域の中で居場所や仕事を持つように工夫して行政とも協力しがんばってます。」

活動を知らず理解して、共感してもらうための工夫の活動やいろいろな気づきを話し頂きました。

その後、参加頂いた団体ごとに共感してもらう活動発信におけ、活動内容を整理しました。

質疑・休けいの時間では、いつになく活発な意見がかわされてきました。

● 若い鈴木さんの誠実な姿勢や努力は皆さんに伝わり、共感を生んでいました。ただ、地域理解・就労共に現実が厳しく継続する大変さも共有できました。

アンケートのまとめ

① 今日の研修について
 ・とても良かった(6名) ・良かった(11名)

② 鈴木さんのお話について
 ・参考になった(5名) ・一部参考になった(10名)
 ・楽しかった(1名)

③ 団体の「共感を生む活動発信」の整理について
 ・団体の整理ができた(4名)
 ・少し整理ができた(10名) { 運営資金としての継続できるしくみ作り、シート記入により頭が整理ができた }
 ・整理が難しかった(3名)

参加者の声 (アンケートから)

Aさん // 活動を振り返るきっかけになった。

Bさん // 活動していることを周知してもらうことの大切さが良くわかった。

Cさん // もっとみよし市の中で、団体の交流が必要かも……

報告 2

令和元年10月10日(木)から市民活動サポートセンター内に

「みんなの居場所」がオープンしました!

キッズルームとしてこれまで生涯学習の講座などが行われていた時に使用していた場所です。



対象は0歳児と保護者

開いている曜日は... 月曜日、火曜日、木曜日。

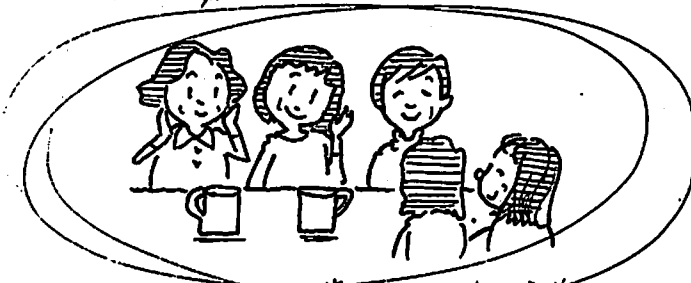
時間は... 10:30~14:30

昨年の10月、開設したところでは、

ホッとできる居場所づくりをしていきます。

気軽におでかけ下さい。

赤ちゃんとお母さん、お姉ちゃんなど14組の方や、介護やご自分の体調など話をされている方が少しづつみえています。



介護している高齢者

報告 3

「がんばる地域応援補助 事業」の審査会が開催されました。

今年度は2つの団体の応募があり 審査の結果 1団体が
がんばる地域応援補助 事業 となりました

団体名	事業名	内容
チャレンジクラブ	地域の子どもの居場所づくり。	ものづくりを通して小・中・高校生に人をまとめる力や、進んで行動する力をつける。また、その過程を地域の大人が見守るという環境をつくる

審査会からは、がんばる地域を応援する事業として、地域へどう還元していくのか ということと地域との関わりを持つ中で将来へのビジョンを持って事業の実施をして欲しい...というアドバイスがありました。



市民活動サポートセンター内の
掲示板やラックに
団体の活動情報を
掲示しませんか?

★希望される方は受付スタッフに申し出て下さい。

